

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: ヘアカラー汚れ落とし
会社名	: 高森コーキ株式会社
住所	: 新潟県三条市南四日町4-18-18
担当部門	
電話番号	: 0256-32-4041
FAX番号	: 0256-34-7502
緊急連絡先	: 0256-32-4041
推奨用途及び使用の制限	: 洗面台などに付着したヘアカラー用汚れ落とし

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷 : 区分1

性/眼刺激性

皮膚感作性 : 区分1B

生殖細胞変異原性 : 区分1B

生殖毒性 : 区分1A

特定標的臓器毒性 : 区分2 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)

(単回暴露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性

(反復暴露) : 区分2 (中枢神経系)

誤えん有害性 : 区分1

上記で記載がないものは、「区分に該当しない」、「分類できない」に該当する。

環境に対する有害性

水性環境有害性 (急性) : 区分3

上記で記載がないものは、「区分に該当しない」、「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起後 : 危険

危険有害性情報

: H226	引火性液体および蒸気
: H315	皮膚刺激
: H318	重篤な眼の損傷
: H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
: H340	遺伝性疾患のおそれ
: H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
: H371	中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害のおそれ
: H335	呼吸器への刺激のおそれ
: H336	眠気またはめまいのおそれ
: H373	長期にわたる、または、反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ
: H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
: H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

: P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
: P202	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
: P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
: P233	容器を密栓しておくこと。

	: P240 容器を接地しアースをとること。 : P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。 : P242 火花を発生させない工具を使用すること。 : P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 : P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 : P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 : P264 取扱い後は、接触した部分をよく洗うこと。 : P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 : P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 : P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 : P273 環境への放出を避けること。 : P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
応急措置	: P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 : P302+P352 皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 : P303+P361+P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水【またはシャワー】で洗うこと。 : P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 : P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 : P308+P311 暴露または暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 : P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。 : P310 直ちに医師に連絡すること。 : P312 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 : P314 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。 : P321 特別な処置が必要である。 : P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。 : P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。 : P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 : P370+P378 火災の場合：消火に適切な消火剤を使用すること。
保管	: P403+P233 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。 : P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 : P405 施錠して保管すること。
廃棄	: P501 内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別		：混合物	
化学名又は一般名	C A S 番号	量(%)	化審法番号/安衛法
エタノール	64-17-5	30-40	2-202/57条、57条の2
イソプロピルアルコール	67-63-0	<5	2-207/57条、57条の2、57条の3
ノルマルプロピルアルコール	71-23-8	<5	2-207/57条、57条の2、57条の3
1－メトキシ－2－プロパノール	107-97-8	20-30	2-404、7-97/57条、57条の2、57条の3
d－リモネン	5989-27-5	<5	3-2245/57条、57条の2
その他（グリコール系溶剤、精製水、シリコンオイル、界面活性剤）	非公開	残り	非公開/非該当

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ： 医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	： 多量の水と石けんで洗うこと。 ： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。 ： 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。 ： 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深くあらうこと。 ： 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。 ： その後も洗浄を続けること。 ： 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。 ： 医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	： 暴露による二次災害の防止。
医師に対する特別な注意事項	： 直ちに医師の診断を受け、症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤	： 二酸化炭素、粉末消火薬剤、耐アルコール性泡消火薬剤。 水噴霧は大規模火災の際にのみ利用する。
使ってはならない消火剤	： 棒状注水。
特有の危険有害性	： 内容液と蒸気及びガスは高度に引火性である。 ： 熱、炎と接触した場合、激しい火災の危険がある。 ： 蒸気及びガスの場合は着火源まで相当な距離があっても引火する恐れがある。 ： 火災や燃焼により毒性、刺激性、腐食性のガスが発生する恐れがある。
消火方法	： 作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。 ： 危険でなければ可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
消火を行う者の保護	： 水を噴霧して容器類を冷却すること。 ： 危険でなければ火災区域から容器を移動すること。 ： 消火作業の際は、適切な呼吸用保護具・化学保護衣を着用すること。

6. 火災時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	： 作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護衣、前掛け等）を着用すること。 ： 付近の火気を止めること。 ： 付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除き、風下の人を非難させる。 ： 着火した場合に備えて適切な消火器を準備すること。 ： 蒸気、ガス、粉じんの吸入及び皮膚や眼への接触を避ける。 ： 屋内で漏出した場合は、十分に換気を行うこと。
環境に対する注意事項	： 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化方法及び機材

- ：衝撃、静電気にて火花が発生しない材質の用具で回収すること。
- ：漏出液を密閉式の容器に集め、残留分を土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させて安全な場所に移す。残りはウエスや雑巾で拭き取ること。
- ：少量の場合は砂、おがくず、ウエス等で吸収し、密栓できる容器に回収すること。
- ：大量の場合は盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いて回収すること。
- ：すべての着火源を速やかに取り除くこと。
- ：近くでの喫煙、火花、火気の禁止。
- ：漏出液を排水口や下水溝等に流してはならない。
- ：廃棄物は関係法規に従い処理すること。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	：静電気対策のため、設置等は設置し、電気機器類は防爆型を使用すること。
		：適切な保護具を着けて作業すること。
	安全取扱注意事項	：容器は注意して取扱うこと。
		：粉塵を吸入しないこと。
		：皮膚、眼との接触を避ける。
		：眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受けること。
		：すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。
		：皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗うこと。
		：屋外又は換気の良い場所でのみ取扱うこと。
		：密閉された場所における作業には、十分な局所廃棄装置を設置しなければならない。
		：火気、スパーク、高温物付近では使用しないこと。火気厳禁。
		：火炎に向かって噴射しないこと。火の中に入れないこと。
		：温度が40℃以上の場所では、容器の破裂の恐れがあるため、取扱わないこと。
		：容器を転倒、落下させたり、衝撃又は引きずる等乱暴な取扱いをしないこと。
	適切な衛生対策	：使用時には飲食しないこと。
		：取扱い後は手洗いを十分に行うこと。
	接触回避	：酸化剤との接触を避ける。
保管	安全な保管条件	：熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。
		：容器は、直射日光や火気を避けること。
		：容器を密栓して換気の良い涼しい場所で保管すること。
		：施錠して保管すること。
	技術的対策	：保管施設は、排水へのアクセスのない構造とすること。
	混触危険物	：酸化剤から離しておくこと。
	安全な容器包装材料	：情報を有しない。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度・管理濃度

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	A C G I H
エタノール	未設定	未設定	TLV-STEL 1000ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm 980mg/m3	TLV-TWA 200ppm TLV-STEL 400ppm
ノルマルプロピルアルコール	未設定	未設定	TLV-TWA 100ppm
1－メトキシ－2－ プロパノール	未設定	未設定	TLV-TWA 50ppm TLV-STEL 100ppm

設備対策

: 取扱い場所の近くに洗眼器と安全シャワーを接地すること。
: ばく露防止のために局所廃棄装置、密閉化装置を使用すること。

保護具

呼吸器保護具 : 適切な保護具を使用すること。
手の保護具 : 不浸透性の保護手袋を使用すること。
眼の保護具 : 保護面、保護眼鏡を使用すること。
身体の保護具 : 不浸透性の保護衣を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	: 無色透明～微濁
	形状	: 液体
融点		: -124℃以上
沸点		: 78℃以上
引火点		: 23.5℃
発火点		: 237℃以上
爆発限界	下限	: 0.7vol%
	上限	: 19.0vol%
比重		: 0.885±0.020
水への溶解度		: 易溶

1 0. 安定性及び反応性

反応性 : 強酸化剤と反応する可能性がある。

安定性 : 通常の取扱い条件では安定である。

危険有害反応性 : 情報を有しない。

避けるべき条件 : 高温、着火源との接触、混触危険物質との接触。
: 高温多湿な場所での保管及び火気付近での使用。

混触危険物質 : 強酸化剤、有機酸、火気等。

危険有害な分解生成物 : 火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスが発生する。

1 1. 有害性情報

健康に対する有害性

エタノール

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2 B

発がん性 : 区分 1 A

生殖毒性 : 区分 1 A

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分 1 (肝臓)
: 区分 2 (中枢神経系)

イソプロピルアルコール

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 1 (中枢神経系、全身毒性)
: 区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分 1 (血液系)
: 区分 2 (呼吸器系、肝臓、脾臓)

ノルマルプロピルアルコール	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1
生殖毒性	: 区分 2
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
d-リモネン	
誤えん有害性	: 区分 1

上記で記載がないものは、「区分に該当しない」、「分類できない」に該当する。

1 2. 環境影響情報

環境に対する有害性

d-リモネン	
水性環境有害性 短期 (急性)	: 区分 1
水性環境有害性 長期 (慢性)	: 区分 1

上記で記載がないものは、「区分に該当しない」、「分類できない」に該当する。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 : 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託すること。 : 本製品を含む廃液及び洗浄廃水を直接河川等に排出したり、そのまま埋立てたり投棄することは避ける。
汚染容器及び包装	: 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分すること。 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託し、空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	: 定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報	: 定められている運送方法に従うこと。
航空規制情報	: 定められている運送方法に従うこと。
特別の安全対策	: 取扱い及び保管上の注意事項に従うこと。 : 容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、に崩れ防止を確実に行うこと。

1 5. 適用法令

消防法	: 第四類第二石油類 水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 3. 組成及び成分情報参照
有機則	: 該当 (第 2 種：イソプロピルアルコール)
特化則	: 非該当
化審法	: 3. 組成及び成分情報参照
P R T R 法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当

16. その他の情報

参考文献

：職場のあんぜんサイト（GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報）
：緊急時応急措置指針
：国際化学物質安全性カード（I C S C）
：作業環境評価基準
：日本産業衛生学会
：TLVs and Bels（ACGIH）
：法規制物質リスト（日本ケミカルデータベース）
：ケミカルデータベース（日本ケミカルデータベース）
：NITE-化学物質管理（製品評価技術基盤機構）
：原材料のSDS

- ・本安全データシートは現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
- ・記事事項は通常の取扱いを対象にしたものでありますので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した保安対策を実施の上、ご利用ください。
- ・すべての化学製品は「未知の危険性、有害性がある」という認識で取扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、取扱い方、保管の状態及び機関によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門知識、経験のある方のみ、又はそれらの方々の指導のもとで取扱う事を推奨します。
- ・本安全データシートについて、ホームページ等への転載、当製品をご使用にならない方への提供をお断りします。